

平成 22 年 度

事 業 報 告 書

自 平成 22 年 4 月 1 日
至 平成 23 年 3 月 31 日

社団法人 全国自動車標板協議会

平成22年度 事業報告書

I. 会議の開催

1. 総会、理事会

平成22年度の通常総会、理事会を以下の通り開催した。

なお、全標協の重要事項は正副会長会議を経て総会、理事会に諮ることとしているが、総会、理事会に際し正副会長会議を開催し、重要案件を処理した。

(1) 総会

(第1回通常総会)

開催日 平成22年6月17日

開催場所 グランドアーク半蔵門

- 審議事項等
- 1) 平成21年度事業報告書(案)の承認に関する件
 - 2) 平成21年度収支計算書(案)の承認に関する件
 - 3) 役員の新補充選任に関する件
 - 4) 地標協推薦に係る常任委員会委員の変更について

(第2回通常総会)

開催日 平成23年3月4日

開催場所 グランドアーク半蔵門

- 審議事項
- 1) 平成23年度事業計画(案)の承認に関する件
 - 2) 平成23年度収支予算(案)の承認に関する件
 - 3) 会費の額及び納入方法に関する件

(2) 理事会

(第1回理事会)

開催日 平成22年6月17日

開催場所 グランドアーク半蔵門

- 審議事項
- 1) 平成21年度事業報告書(案)の承認に関する件
 - 2) 平成21年度収支計算書(案)の承認に関する件
 - 3) 役員の新補充選任に関する件
 - 4) 地標協推薦に係る常任委員会委員の変更について
 - 5) 表彰規程に基づく感謝状の贈呈について

(第2回理事会)

- 開催日 平成23年1月18日
開催場所 グランドアーク半蔵門
審議事項 1) 「定款の変更の案」について
2) 平成22年度事業中間報告について
3) 平成22年度収支状況中間報告について
4) 地標協の公益活動に対する助成金の配布について
5) 全標協50周年記念事業の実施について

(第3回理事会)

- 開催日 平成23年3月4日
開催場所 グランドアーク半蔵門
審議事項 1) 平成23年度事業計画(案)の承認に関する件
2) 平成23年度収支予算(案)の承認に関する件
3) 会費の額及び納入方法に関する件

2. 常任委員会

平成22年度の常任委員会を以下の通り開催するとともに、会議議事録をその都度作成し、全会員に配布することによって、当該委員会活動についての会員の関心と理解を深めるべく努めた。

(1) 企画委員会

(第1回企画委員会)

- 開催日 平成22年9月29日
開催場所 全標協会議室
議 題 1) 全標協の「定款変更案」について
2) 「世界のナンバープレート展」実施に関するアンケート結果及び今後の対応について
3) 反射材を使用したナンバープレートに関する調査について
4) その他

(第2回企画委員会)

- 開催日 平成23年2月18日
開催場所 全標協会議室

- 議 題 1) 全標協の公益目的支出計画の考え方について
2) その他

(2) 技術委員会

(第1回技術委員会)

開催日 平成22年8月25日

開催場所 全標協会議室

- 議 題 1) 「世界のナンバープレート展」実施に関するアンケート結果について
2) 反射材を使用したナンバープレートに関する調査の進捗状況について
3) その他

II. 事業活動の実施状況

1. 公益法人制度改革等への対応

新制度への移行にあたっては、全標協の会員は業態も様々であり、抱える課題も異なることから、企画委員会を中心に会員による業態別のセクター別検討会を設置し、共通の課題への対応、情報交換等を行うこととされたところであるが、セクター別検討会の開催に際しては、これらに参加して情報提供等を通じて協力し、会員の新法人への円滑な移行が行われるよう支援した。

なお、これまでに(社)青森県自動車整備振興会が平成23年3月22日に青森県から一般社団法人への移行認可を受けたところである。

全標協は、一般社団法人への移行方針決定及び平成20年会計基準の採用を踏まえ、本年度は23年度以降申請が可能となるよう、定款の見直し、諸規程の整備を行い、申請のための諸準備を進めることとし、新しい定款案については、8月の地標協専務理事会議及び9月の企画委員会、全国専務理事会議で説明を行い、1月の理事会で審議、承認されたところである。

今後、23年度第1回通常総会で審議、承認を頂くこととしている。

また、5月に実施された政府系公益法人が行う事業に関する事業仕分けの評価結果を踏まえ、6月以降、各省による政府系公益法人が行う事業についての指導監督基準に基づく「横断的見直し」が実施された。特に、内部留保に関しては、国交省から交付代行業全体の状況説明を求められたことから、地標協経由で交付代行者の了解を得つつこれまでの収支概況等

の説明を行い、適正な理解が得られるよう努めた。

横断的見直し調査結果については、10月末に国交省から内閣府の行政刷新会議に報告がなされている。

2. 自動車登録番号標の今後のあり方に関する調査検討等

(1) 反射材を使用したナンバープレートに関する調査

自動車登録番号標の今後のあり方に関し、反射材を使用したナンバープレートに関する調査については、平成21年度は反射シートを使用したナンバープレートの耐久性、視認性・判読性試験の実施計画をとりまとめ、試験用ナンバープレートの製作を行ってきたところである。本年度は、6月から8月にかけて、反射式ナンバープレートの耐久性、視認性・判読性の試験を実施し、9月15日の「反射材を使用したナンバープレートに関する調査委員会」において、反射材を使用したナンバープレートに関する調査報告書を取りまとめ、国交省の「反射材を使用したナンバープレートに関する検討委員会」へ報告を行った。反射式ナンバープレートはペイント式に比べ耐久性、耐候性について一部基準を満たすことができないサンプルが存在したこと、視認性についてはペイント式に比べ3倍程度増加したが、判読性は同程度であったことが明らかとなった。

この調査委員会の報告を踏まえ、12月21日、国交省において開催された第2回の「反射材を使用したナンバープレートに関する検討委員会」において、同報告書が概ね了承され、『反射式ナンバープレートは直ちにこれを導入するには解決すべきいくつかの課題が残されている』との整理がなされた。

なお、21年11月に国の「ナンバープレート表示の視認性の確保等に関する検討会」でナンバープレートカバーの全面禁止の方針が示されたところであるが、その実施に向けた最終的な調整が行われている。

(2) 自動車登録のあり方に関する検討会

昨年5月に内閣府が実施した政策グランプリにおいて「自動車登録制度の簡略化」に関する提案がグランプリに選ばれたところである。

国交省においては、同提案に盛り込まれた事項を検討することを契機として自動車登録制度について改めて見直しを実施する、として11月12日に、学識経験者、業界団体等を構成メンバーとする「自動車登録のあり方検討会」を設置した。全標協からも委員として参加し、その取

りまとめに協力を行った。これまでに5回の検討会が開催され、提示された、①所有権の公証のあり方、②封印制度について、③管轄制度のあり方について、④OSS利用拡大について、⑤登録手続きにおける添付書類の簡略化の方向性について、の諸課題について議論を行い、23年3月29日にこれまでの意見のとりまとめが行われたところである。

今後、国交省においては、本検討会での議論の中で概ね合意がなされたものや直ちに実施可能なもの等については、具体化に向けた検討を開始したいとしている。

3. ご当地ナンバー対応を含めた希望ナンバー制の推進

希望ナンバーシステムについては、平成21年度にユーザーの利便の向上、業務の効率化等を内容とするシステム更改を行い、自動車検査登録情報提供サービスや二次元バーコードを活用した誤申請、誤交付防止対策等を図ったところであり、その適切な運用に努めた。

希望ナンバーの払底対策について、22年5月からは、名古屋「111」など3通りの一般希望番号が抽選対象希望番号に追加された。また、抽選対象希望番号についても払出しが進んでいる地域があることから、特定地域の抽選対象希望番号の当選個数を見直すこととし、品川・大阪・神戸「8」について、3ナンバーは2個、5ナンバーは8個とし、また、神戸「88」について、普通乗用車（3ナンバー）は1個、小型乗用車（5ナンバー）は4個とすることとした。

なお、23年3月11日に発生した東日本大震災関係では、国の登録手続き等の緩和等の措置に対応して、希望番号予約済証の有効期限の延長等を行い、復興支援に努めた。

4. 個人情報の保護

全標協は、認定個人情報保護団体として、会員に対する情報提供に努めるとともに、平成21年度作成した「個人情報保護 Q&A」の活用の視点や昨年度末に実施した個人情報保護にかかる重点実施項目についてのアンケート結果を踏まえ、個人情報保護指導委員会を通じて会員における個人情報の管理体制、安全管理措置、職員教育に関する指導等の一層の充実強化に取り組んでいくこととした。

このため、全標協においては、ブロック別に行われている会員の窓口職員の研修会等の機会を捉えて講師を派遣することとし、これまでに8プロ

ックの研修会において講師を派遣し、会員の個人情報保護にかかる教育研修を支援した。

なお、22年度末に予定していた個人情報保護指導委員会開催は、東日本大震災への対応等から、書面により平成23年度認定団体業務計画の審議決定を行った。

5. 自動車登録等手続適正化及びナンバープレートに対するユーザー啓発

「世界のナンバープレート展」の今後の計画については、平成22年7月に実施した全会員への意見照会に基づいて、8月に技術委員会でアンケート結果の取りまとめを行い、9月に企画委員会で検討を行った結果、来年度は啓発をより重視した内容で継続することとなった。

この結果を踏まえ、これまでの幕張メッセから東京ビックサイトへ場所を移して23年12月2日から11日にかけて開催される東京モーターショーへの展示申請を11月に行った。

また、引き続き「自動車登録等適正化推進協議会」に参画し、自動車登録申請手続に関するリーフレットの作成や各都道府県・市区町村・警察署等への配付活動に協力し、自動車登録等手続の適正化の推進に努めた。

6. 自動車保有関係手続のワンストップサービスに向けた関係団体との協力体制の構築

国交省によると、平成22年度のワンストップサービスの利用率は、約24.89%であり、その90%強は住基カードと印鑑証明書や委任状を併用するいわゆるハイブリット申請であり、住基カード単独の利用は10%弱であった。国交省においては、都道府県、関係他団体の協力の下に、

こうしたワンストップサービスの拡大を図るべく24年度末までに、①全国展開する、②変更・移転・抹消登録への手続き拡大する、③継続検査時の納税確認を電子化する、④登録手数料の引き下げを図る、とされている。

すでに、22年4月から、事業用自動車、レンタカーもワンストップサービスの対象とされている。

なお、ワンストップサービスの拡大に関して、6月21日付けで国交省に対し、交付代行者として積極的に対応していきたいと考えているが、国交省としての青写真を早急に示していただき、これに基づいて具体的検討を行っていききたい旨の申し入れを行っているところである。

7. 諸外国における自動車番号標の実情調査

反射材の調査委員会での報告書の取りまとめに当たって必要な状況が発生しなかった等から、本年度は諸外国の実情調査は行わなかった。

8. 用紙の取扱

検査登録申請用OCRシート等用紙及び希望番号用OCRシート用紙の取扱については、遺漏のないように実施している。

検査登録申請用OCRシートの平成22年度の頒布実績は、19,373,400枚(対前年比101.9%)と増加している。

希望番号用OCRシート用紙の22年度の頒布実績は、6,370,000枚(対前年比100.4%)とわずかながら増加している。

9. 自動車関係団体との連携

自動車関係団体との連携を密にし、情報の収集交換に努めた。

10. 経営実態の把握

(1) 交付代行事業収支状況

平成21年度の収支率は、全体で103.2%であり、交付代行者58者のうち、9事業者が赤字経営(20年度13者)となっている。

(2) 登録番号標及び車両番号標交付実績

22年度の自動車登録番号標の交付枚数は、12,283,017枚(対前年比97.2%)であり、車両番号標の頒布枚数は7,919,414枚(対前年比98.4%)となっている。

(3) 希望番号予約率

22年度の登録自動車の希望番号予約件数は、2,043,810件(対前年比102.4%)、予約率34.1%(前年度32.3%)であり、軽自動車の希望番号予約件数は、550,409件(対前年比107.0%)、予約率15.2%(前年度14.0%)となっている。

1 1. 会員及び地標協への協力

(1) 公益事業活動に対する助成金の配布

車社会におけるユーザー対策として、地標協が行う公益活動事業に対する助成金として総額1,200万円(前年度と同額)を昨年11月下旬に各地標協に配布した。

(2) 講習会への参加斡旋

自検協主催の平成22年度自動車登録講習会
10月4日～5日 当協議会 58名

(3) 東日本大震災への対応

3月11日に発生した東日本大震災については、大地震に津波や原子力発電所の事故の影響も加わり、甚大な被害をもたらしたが、正副会長の判断の下に被災地域会員に対し見舞金を支出するとともに、被災者一般への義援金の支出を日本赤十字社を通じて行うこととした。

III. 組織運営

1. 役員の新補充選任

平成22年6月17日開催された22年度第1回理事会・通常総会において一部役員の新辞任に伴う役員の新補充改選が行われ、理事に林 雄三郎氏(北海道標協推薦)、小泉 一郎氏及び平松 仁氏(いずれも四国標協推薦)が選任された。

2. 会員の顕彰等

慶弔規程の定めにより、平成22年春の叙勲1名、褒章1名、秋の叙勲1名、褒章2名及び国土交通大臣表彰2名に対して栄誉を讃え慶祝金を贈った。

また、全標協の役員として永年功績のあった者4名に対し感謝状と記念品を贈った。